科目名: 老年看護学援助論 I	必修	1単位(45時間)
(Gerontologic Nursing Assistance Theory Ⅰ)		

履修年次/時期: 2年次 前期　　授業形態: 講義,演習

主担当教員: 棚橋 泰之

主担当教員詳細: 実務経験 看護師13年:実務経験および教育経験から老年期の特性と看護を提供する際に必要な知識・技術を獲得できるような授業を展開する。

担当教員名: 石川 智子,石井一義

学修目的	加齢による身体的・精神的・社会的変化を理解し、高齢者のヘルスアセスメント及び高齢者に適切な援助を実施する際に必要となる考え方を修得する。 関連するCP: CP1,CP2,CP3,CP6　　科目No. KNz-214		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	-
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1. ライフサイクルにおける老年期の身体的・精神的・社会的特徴について説明できる。 2. 高齢者のヘルスアセスメントについて説明できる。 3. 器官系統別の加齢変化について説明できる。 4. 高齢者の生活行動の中での高齢者特有の不具合について説明できる。 5. 高齢者のより健康的な生活を支える看護の役割と機能について説明できる。		
授業概要	加齢変化、病、障害を併せ持つ身心をどのように捉え、それに基づいてどうのように生活を整えるのかを理解する。器官系統別の加齢変化とアセスメント、生活行動の中での高齢者特有の不具合と援助技術を学ぶ。		
評価方法	定期試験 60% 演習課題 40% 評価に対するフィードバックは課題返却と掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間		
教科書	①系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院		
参考書	授業内で適宜紹介します。		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	在室時は調整し対応。不在時は下記メールに連絡ください。 棚橋泰之:3号館3階 研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 石川智子:3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp		

実施回	第1回	実施日	2026/05/13 (水)	時限	1	班	
授業計画	ガイダンス 高齢者のヘルスアセスメント(1) ①高齢者のヘルスアセスメントの枠組みアセスメントの基本が理解できる。 ②生活行動の中の高齢者特有の不具合が説明できる。	予習	教科書第4章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習				
		キーワード	身体的健康、心理・社会的健康、生活の自立状況、環境、生活史				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第2回	実施日	2026/05/20 (水)	時限	3	班	A班
授業計画	演習1「高齢者を知る-高齢者の身になってみたら」 ①高齢者体験キットを装着し、高齢者が感じている加齢による身体的・心理的・社会的側面の変化をイメージできる。 ②高齢者体験による学びをレポートにより説明できる。 課題 演習ノート①の提出　月　日　時まで	予習	演習ノート①の作成				
		復習	演習での学びを整理する				
		キーワード	高齢者体験、高齢者に対するイメージ、高齢者観				
授業形態	演習	担当	○石川, 石井, 棚橋				

実施回	第3回	実施日	2026/05/20 (水)	時限	4	班	A班
授業計画	演習1「高齢者を知る-高齢者の身になってみたら」 ①高齢者体験キットを装着し、高齢者が感じている加齢による身体的・心理的・社会的側面の変化をイメージできる。 ②高齢者体験による学びをレポートにより説明できる。 課題 演習ノート①の提出　月　日　時まで	予習	演習ノート①の作成				
		復習	演習での学びを整理する				
		キーワード	高齢者体験、高齢者に対するイメージ、高齢者観				
授業形態	演習	担当	○石川, 石井, 棚橋				

実施回	第4回	実施日	2026/06/25 (木)	時限	3	班	
授業計画	高齢者のヘルスアセスメント(2) ①身体の加齢変化を踏まえたアセスメントができる。	予習	教科書第4章Bを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	光老化、スキン-テア、ドライスキン、老視、明暗順応の延長、老人性難聴、補充現象(リクルートメント現象)、収縮期血圧の上昇、左心室壁の肥厚、残気量の増加、腸蠕動運動の低下、便秘、ホルモン分泌の変化骨粗鬆症、ロコモティブシンドローム				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第5回	実施日	2026/06/17 (水)	時限	3	班	
授業計画	高齢者のヘルスアセスメント(2) ①身体の加齢変化を踏まえたアセスメントができる。	予習	教科書第4章Bを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	光老化、スキン-テア、ドライスキン、老視、明暗順応の延長、老人性難聴、補充現象(リクルートメント現象)、収縮期血圧の上昇、左心室壁の肥厚、残気量の増加、腸蠕動運動の低下、便秘、ホルモン分泌の変化骨粗鬆症、ロコモティブシンドローム				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第6回	実施日	2026/06/17 (水)	時限	4	班	
授業計画	高齢者のヘルスアセスメント(2) ①身体の加齢変化を踏まえたアセスメントができる。	予習	教科書第4章Bを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	光老化、スキン-テア、ドライスキン、老視、明暗順応の延長、老人性難聴、補充現象(リクルートメント現象)、収縮期血圧の上昇、左心室壁の肥厚、残気量の増加、腸蠕動運動の低下、便秘、ホルモン分泌の変化骨粗鬆症、ロコモティブシンドローム				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第7回	実施日	2026/06/24（水）	時限	3	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動 ①基本動作とは何かが説明できる。 ②ADLの種類が説明できる。 ③日常生活活動の評価方法が説明できる。 ④転倒が高齢者に及ぼす影響と転倒予防の看護を説明できる。 ⑤廃用症候群とは何かが説明できる。 ⑥廃用症候群の早期発見と予防に向けた看護が説明できる。	予習	教科書第5章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	高齢者総合機能評価（CGA）、基本的日常生活動作（BADL）、バーセルインデックス、カッツインデックス、FIM（機能的自立度評価表）、手段的日常生活動作（IADL）転倒リスクアセスメントツール、転倒リスク評価、廃用症候群、ポジショニング（シーティング）、アクティビティケア				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第8回	実施日	2026/06/24（水）	時限	4	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動 ①基本動作とは何かが説明できる。 ②ADLの種類が説明できる。 ③日常生活活動の評価方法が説明できる。 ④転倒が高齢者に及ぼす影響と転倒予防の看護を説明できる。 ⑤廃用症候群とは何かが説明できる。 ⑥廃用症候群の早期発見と予防に向けた看護が説明できる。	予習	教科書第5章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	高齢者総合機能評価（CGA）、基本的日常生活動作（BADL）、バーセルインデックス、カッツインデックス、FIM（機能的自立度評価表）、手段的日常生活動作（IADL）転倒リスクアセスメントツール、転倒リスク評価、廃用症候群、ポジショニング（シーティング）、アクティビティケア				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第9回	実施日	2026/07/01（水）	時限	3	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動 ①基本動作とは何かが説明できる。 ②ADLの種類が説明できる。 ③日常生活活動の評価方法が説明できる。 ④転倒が高齢者に及ぼす影響と転倒予防の看護を説明できる。 ⑤廃用症候群とは何かが説明できる。 ⑥廃用症候群の早期発見と予防に向けた看護が説明できる。	予習	教科書第5章Aを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	高齢者総合機能評価（CGA）、基本的日常生活動作（BADL）、バーセルインデックス、カッツインデックス、FIM（機能的自立度評価表）、手段的日常生活動作（IADL）転倒リスクアセスメントツール、転倒リスク評価、廃用症候群、ポジショニング（シーティング）、アクティビティケア				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第10回	実施日	2026/07/01（水）	時限	4	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 食事・食生活と排泄 ①高齢者にとっての食事・食生活の重要性が説明できる。 ②高齢者の栄養評価と食事の援助が説明できる。 ③高齢者にとっての口腔ケアの重要性が理解できる。 ④高齢者の尊厳にかかわる排泄ケアについて説明できる。 ⑤高齢者の失禁に対しての看護が説明できる。	予習	教科書第5章B・Cを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	不顕性誤嚥、反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト、栄養スクリーニングツール（SGA、OGA、MNA??-SF）、嚥下体操、唾液腺マッサージ、義歯、口腔ケア、禁制と失禁、過活動膀胱				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第11回	実施日	2026/07/08（水）	時限	3	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 食事・食生活と排泄 ①高齢者にとっての食事・食生活の重要性が説明できる。 ②高齢者の栄養評価と食事の援助が説明できる。 ③高齢者にとっての口腔ケアの重要性が理解できる。 ④高齢者の尊厳にかかわる排泄ケアについて説明できる。 ⑤高齢者の失禁に対しての看護が説明できる。	予習	教科書第5章B・Cを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	不顕性誤嚥、反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト、栄養スクリーニングツール（SGA、OGA、MNA??-SF）、嚥下体操、唾液腺マッサージ、義歯、口腔ケア、禁制と失禁、過活動膀胱				
授業形態	講義	担当	石川				

実施回	第12回	実施日	2026/07/08（水）	時限	4	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 清潔と生活リズム ①高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題が説明できる。 ②高齢者の清潔ケアについて説明できる。 ③高齢者の生活リズムを調整する意義が説明できる。 ④高齢者の生活リズムを整える看護が説明できる。	予習	教科書第5章D・Eを読んで臨む。				
		復習	授業内容の整理と追加学習をする				

	④高齢者の生活リズムを整える看護が説明できる。	キーワード	乾燥とかゆみ、爪白癬、爪切り（スクエアオフ）、睡眠と覚醒の変化
授業形態	講義	担当	石川

実 施 回	第13回	実 施 日	2026/07/22（水）	時限	3	班	
授業計画	高齢者の生活機能を整える看護 清潔と生活リズム ①高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題が説明できる。 ②高齢者の清潔ケアについて説明できる。 ③高齢者の生活リズムを調整する意義が説明できる。 ④高齢者の生活リズムを整える看護が説明できる。	予　習	教科書第5章D・Eを読んで臨む。				
		復　習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	乾燥とかゆみ、爪白癬、爪切り（スクエアオフ）、睡眠と覚醒の変化				
授業形態	講義	担当	石川				

実 施 回	第14回	実 施 日	2026/07/22（水）	時限	4	班	A班
授業計画	演習2「義歯の管理」 ①総入れ歯の着脱ができる。 ②総入れ歯の人の口腔ケアが実施できる。 ③義歯の清掃と管理ができる。 課題 　演習ノート②の提出　　月　　日　　時まで	予　習	教科書第5章p160を読んで臨む。演習ノート②の作成				
		復　習	演習での学びを整理する				
		キーワード	義歯の着脱、スポンジブラシによる口腔ケア				
授業形態	演習	担当	○石川，石井，棚橋				

実 施 回	第15回	実 施 日	2026/07/23（木）	時限	4	班	
授業計画	まとめ ①高齢者の生活機能を支える看護について説明できる。	予　習	学習内容を整理しておく				
		復　習	授業内容の整理と追加学習をする				
		キーワード	高齢者、生活機能、日常生活援助				
授業形態	講義	担当	石川、棚橋				